

かわせみ通信

発行：神奈川県自然環境保全センター
自然保護課

住所：神奈川県厚木市七沢657

TEL：046-248-6682

※野外施設の情報は、ホームページでも紹介しています。

野外施設自然情報

自然環境保全センター 生き物

検索

自然環境保全センターの野外施設には、身近な自然を観察できる自然観察園（昭和57年オープン）と、樹木一つ一つをじっくり観察できる樹木観察園（旧林業試験場時代の約50年前に整備）があります。

野外施設では、それぞれの季節に、生き物同士の巧みなつながりや、興味深い生命活動など、大自然の不思議な現象にふれることができます。

この「かわせみ通信」では、野外施設の出来事や生き物たちの様子を紹介しています。

●最近の話題●

<水辺の生き物① 沢のヤゴたち>

7月14日のミニ観察会はあいにくの雨でした。隠れてしまう生き物が多いなか、逆に元気に活動するヤマビルに悩まされながらも水辺の生き物を観察することができました。沢沿いの木では、ちょうど目線の高さに5cmほどの立派なおニヤンマのヤゴの抜け殻を見つけました。すぐそばを流れる沢から上陸して、羽化したのでしょうか。おニヤンマは羽化するまでに4～5年かかるため、沢の中にはいろいろな大きさのヤゴがいます。抜け殻を見つけると、無事にトンボになったんだなあと感動します。あらためて沢の中の生き物を確認してみると、おニヤンマの他にも流れのある水辺にくらすヤゴが確認できました。その形はバラエティーに富んでいます。



おニヤンマのヤゴの
抜け殻

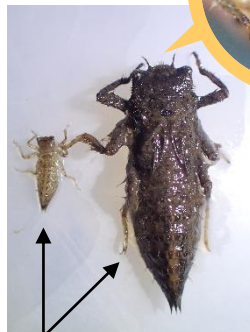
今回確認されたヤゴ



太い触角と
モフモフのからだ
が特徴

成虫

ヤマサナエ<サナエトンボ科>



正面から見ると・・・
折り畳み式の大きな
アゴが顔を覆っていて
“ちょいワル”顔

成虫

おニヤンマ<おニヤンマ科>



軍配型の体に丸い触角
落ち葉の中に隠れてます

成虫

コオニヤンマ<サナエトンボ科>



得意技は
死んだふり(擬死)

ミルンヤンマ<ヤンマ科>



足が長くて
クモミたいな形

コヤマトンボ<ヤマトンボ科>

＜水辺の生き物② 池のアメンボ＞

続いて、流れのない池でたくさん見られたのは、水の上をスイスイ移動する生き物…そう、「アメンボ」です。足には細かい毛が生えていて水に浮くことができます。肉食で、水面に落ちてきた虫などを食べます。また、においも特徴的で、飴のように甘いにおいがすることが名前の由来です。観察会ではコセアカアメンボをスタッフが捕獲してにおいを嗅いでみると、レモンの飴のようなにおいを感じられました。

さらに、よく見てみると個体によって羽のあるものとなないものがある場合もあります。一般的に羽がなく丸いからだが特徴的なシマアメンボもまれに羽を持ち、遠くまで移動できる個体が出現します。

観察会や職員の調査により、観察園で確認されたアメンボは8種類でした。あまりにも身近な生き物すぎて、見過ごしてしまいがちですが、たくさんの種類があること、それぞれにおいや形に特徴があることを知ると「アメンボ」を見る目が変わるのではないのでしょうか。



日本最大オオアメンボ(体長19～27cm)
とヤスマツアメンボ(体長約11mm)

今回確認されたアメンボ

谷戸の池
アメンボ、オオアメンボ、コセアカアメンボ、シマアメンボ、ヤスマツアメンボ
研究棟前の人工池
ヒメアメンボ、ヒメイトアメンボ、カタピロアメンボ類



シマアメンボ(羽なし)
丸いからだには模様もある
体長5～7mm



シマアメンボ(羽あり)
※静岡県産

●気になる生き物●

＜閲覧注意！？ ヤマビル吸血の経過観察＞

人間や野生動物の血を吸って生きているヤマビル。毎日観察園を歩く自然保護課職員は、ほとんどがヤマビルに吸血された経験を持ちます。保全センター周辺では4月～11月頃まで活動し、梅雨の時期など、気温と湿度が高い6～9月は特に注意が必要です。吸血されると長いものは90分間も吸い付いて人の指ほどに大きくなります。

吸血の経過観察



吸血されて10分経過



30分経過



60分経過



90分経過

このヤマビルは
現在も本館窓口で
見られます。

落ち葉の下など湿ったところに隠れているヤマビルは、動物の出す息（二酸化炭素）や地面の振動を感知して近づいてきます。小さな歯で傷をつけ、ヒルジンという血を固まらせない成分を出して血を吸います。痛みもなく、気が付くと血だらけになっているので、初めて経験する人はびっくりしてしまいがちですが、傷口をよく洗って、一晩ほど絆創膏を貼っておけば出血は止まります。

ヤマビルの活動時期はまだしばらく続きますので、観察園を歩くときは、肌を出さず、足元に塩水やディートの入った虫よけスプレーをかけていくことをおすすめします。

傷病鳥獣救護の情報

※救護の情報やバックナンバーは、ホームページで見られます。

神奈川県 野生動物救護

検索

自然環境保全センター（旧自然保護センター）では、傷病鳥獣の救護業務として、県民の方により持ち込まれた県内の傷ついたり弱ったりした野生動物（鳥類と哺乳類の一部）を収容し、必要に応じて治療やリハビリを行い、野生に戻す業務を昭和53年（1978年）から行っています。この「かわせみ通信」では、持ち込まれた野生動物の「救護原因」や「リハビリ状況」などの情報を掲載しています。

● 2019年4月～6月の報告 ●

< 受け入れ状況 >

※ ヒトが関わる「主な救護原因」の項目について記載しました。

受付件数の多かった上位種			< 鳥 類 >		< 哺乳類 >	
			主な救護原因	件数	主な救護原因	件数
1位	ツバメ	21 件	ネコなどに襲われる	26 件	疥癬症(かいせんしょう)	6 件
2位	スズメ	14 件	ガラス窓などへの衝突	16 件	誤認保護	2 件
3位	シジュウカラ	13 件	交通事故	12 件	交通事故	1 件
4位	ムクドリ	12 件	誤認保護	7 件	罠	1 件
5位	カルガモ	10 件	釣り糸(針)や防鳥ネットなどに絡む	3 件		
			違法飼育	2 件		



< 活動内容 >

5/11 FMヨコハマKANAGAWA Muffin「動物たちを救いたい！～救護・現場最前線」

朝8:30～8:55ラジオ放送に出演

5/19 tvk テレビ神奈川 カナフルTV「潜入！野生動物救護の現場」 18:00～18:30テレビ放送に出演

6/15・16 野生動物救護ボランティア講習会を開催、61名受講

● ボランティア活動の紹介 ● Vol.3

今回は、ボランティア歴12年のYさん
にお話を伺いました。

Q: ボランティアになってよかったことは？

A: それはたくさんあります！

例えば、

- ・ 当時在籍されていた職員の方々に動物の保定の仕方など教えていただいたり、海老名や綾瀬方面での放野に立ち会ったこと。
- ・ 地域のボランティア活動に目覚めたこと。お寺や史跡の維持管理のボランティアもしています。
- ・ 孫が中学生の時に一緒に来て、ムササビを抱かせてもらったことがきっかけで「おじいちゃんのような仕事がしたい！」と生き物に興味をもつようになり、センターでボランティア活動と一緒にできること。子供が興味をもったものを伸ばすことは大切だと思うようになりました。

Q: ボランティアになったきっかけは？

A: 子供の頃から小鳥が好きでした。県の広報でこちらの講習会を知り、定年を機に夫婦で申し込みました。

Q: 好きな野生動物は？

A: ホオジロなどの小鳥！



↑ 包丁研ぎをされているYさん

動物の世話だけではないですね。
エサづくりの包丁は、毎日使用するの
で、すぐに切れなくなります。こうして定期的
に研いでくださると、エサの準備も楽になる
ので感謝しています。

ガラス扉に 衝突したシメ

ガラス窓に空や樹木などが映り込んでいると、鳥はそのまま行けると思い、ぶつかってしまうバードストライク。当通信の第2号でも取り上げましたが、今回は当センターでの出来事を紹介します。

① おや?!

2019年2月16日
朝8時過ぎ
可愛らしい鳥が地面で
ジッとしている。近づいても逃げない。
どうしたのでしょうか…?



③ 救護!

ガラス扉に衝突して動けなくなっていると思われたので、急いで救護しました。

救護ポイント

原因が衝突と思われる場合は、一見ケガがないようでも、内臓や脳にダメージを受けた場合は死亡することもあるので、救護を検討します。

シメの特徴

初列風切の先端が平らで少し切り取られたような独特な形をしています。このような形の羽は、日本ではシメだけです。



④ 放野!

安静にしていると、その日の午後には動きまわり飛べるまでに回復!
幸運なことに軽い脳震盪だったのかもしれない。その日のうちに無事放野することができました。

事故を減らすために

衝突事故は、住宅の小さな窓でも起こっていて多くの鳥の死亡原因になっています。少しでも防ぐために、カーテンやブラインドをして映り込みをなくす、ポスターを張るなど、できることから工夫してみてください。

② 現場 観察!

周囲を確認してみると…
入り口のガラス扉に、
羽根がくっついてい
るのを発見!!



救護ポイント

動かない鳥がいたら、
まずは、周囲をよく見
ましょう。上の写真の
ような痕跡があるかも
しれません。
その情報が救護、治療
の役に立ちます。



救護動物特別公開

各日 13:30~15:30

第1回 令和1年10月19日(土)
「バードストライク」がテーマです。
ぜひ、ご覧ください。

第2回 令和2年3月22日(日)

申込み不要・参加費無料・雨天決行
※感染症の発生や悪天候により中止する場合があります。

企画展

神奈川にくらす動物たち

～野生動物40年の記録から～

救護記録をわかりやすく展示しています。
併せてご覧ください。

期間: 令和1年8月3日(土)

～10月14日(月・祝)

場所: 本館2階ブナの森ギャラリー

